



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社カナモト

5

私は「変革こそが、企業の永続的な存在を担保するものだ」との考えを久しく抱いています。「変革は自己否定なしに成就しない。自らの成功体験に執したり、体面にかかわってはいけません。現状を冷静にながめ、否定すべきは否定し、そこから脱せよ」と私は社員に言ってきました^[1]。——故カナモト元名誉会長 金本太中氏

10

(金本太中)は「経営は意志である」と高らかに叫ぶ。現状を打破し、新たな道を開拓する意志、これこそ経営の真髄と目からうろこが落ちた^[2]。——酒井重工業社長 酒井一郎氏

15

● 会社沿革

株式会社カナモト(以下、「カナモト」と略称)は北海道札幌市に本社を構え、従業員3000人規模で日本全国から中国、アセアン諸国まで建設機械レンタル(以下、「建機レンタル」と略称)ビジネスを展開している。在日韓国人一世の金本一郎氏が戦前の1935年に自営業の古鉄リサイクル会社として、北海道の鉄鋼の町である室蘭で創業した。1963年、創業者の急逝により、残された事業は創業者の子息が経営を承継し、翌年株式会社金本商店に改組した。1960年代の高度成長期の最中、建設ラッシュの波に乗り、これまでの鉄鋼事業とは別に、建機レンタルという新たな事業をはじめた。そして、1979年、初めて北海道外に進出した。その後20年間をかけて、1998年に、日本国内の建機レンタル業における初の東証一部上場を果たした。50年以上の発展を経て、グループで北海道から沖縄まで約470拠点、海外を含めると約500拠点の規模に発展し、建機レンタル業で国内2位、世界8位の売上を上げている^[3](付属資料1)。

20

25

^[1]『金本太中の私の中の歴史』34 ページ <https://www.kanamoto.co.jp/document/>

^[2]『脱 私の経営 私の人生』腰帯 北海道新聞社

^[3] イギリス KHL 社の業界誌「International Rental News」2018 版により <https://www.khl.com/download?ac=145523>

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 M40 期生の趙安杰と坂爪 裕教授が共同で作成した。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 趙安杰、坂爪 裕 (2019年4月作成)